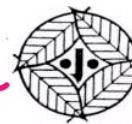


令和6年度後期【愛らぶ友】学校評価アンケート結果

令和6年度
春号

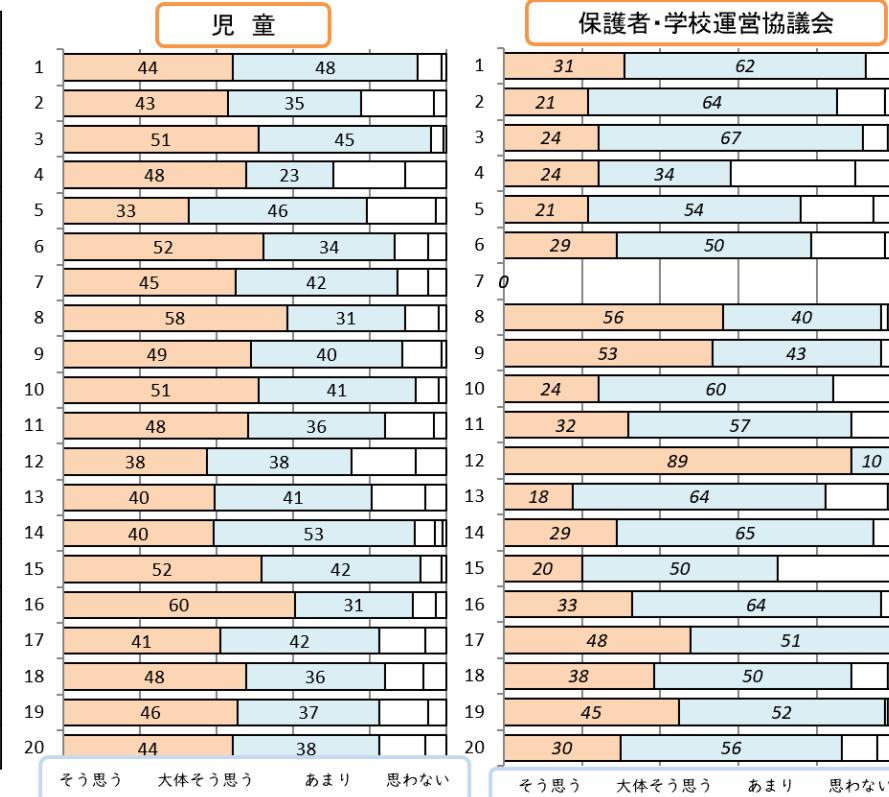
愛らぶ友～境谷だより～



令和7年3月
京都市立境谷小学校
校長 山野 真里子

○目指す子ども像（洛西中学校ブロック）『夢の実現に向けて、共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成』
重点目標（児童生徒の共通する課題より）
(1) コミュニケーション能力を育成するための“言語活動”を充実する～つながる・深める・伝え合う～
(2) 児童生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。
『素直な心で 人とつながり より良い未来を切り拓く 境谷の子』～自愛と友愛に満ちた子の育成～
1. 精力強く挑戦する子 2. 自分も友だちも大切にする子 3. いのち・健康を守る子

質問項目	
①	学校の勉強はわかりますか。
②	自分の意見や考えを話すことができていますか。
③	人の意見や考えをしっかりきくことができていますか。
④	進んで本を読むことができていますか。
⑤	毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができますか。
⑥	毎日、家庭学習をすることができますか。
⑦	授業や学校生活の中でがんばったことを、先生はほめてくれますか。（児童のみ）
⑧	学校に楽しくかようことができていますか。
⑨	学校では、先生や友だちから大切にされていると思いますか。
⑩	地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができますか。
⑪	早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか。
⑫	自分にはよいところがあると思いますか。
⑬	難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか。
⑭	学校のきまりや約束を守ることができますか。
⑮	自分から進んでそうじや係活動ができますか（高：掃除や係活動、委員会活動ができる）
⑯	学校からのおたよりをお家の人に見せていますか。
⑰	わからないことや、困っていることを先生に相談することができますか。
⑱	お家の人に、学校でのできごとを話していますか。
⑲	お家の人にや地域の人からほめられることがありますか。
⑳	地域の人との交流（生活科や総合的な学習の時間のゲストティーチャー・少年補導の行事）やゲストティーチャーとの交流、PTAぎょうじを楽しみにしていますか。



そう思う 大体そう思う あまり 思わない

児童		保護者・学校運営協議会					
そう思う	大体そう思う	あまり	思わない	そう思う	大体そう思う	あまり	思わない
①	44	31	62	6	7	1	1
②	43	21	35	64	19	12	3
③	51	24	45	67	3	7	2
④	48	24	23	34	19	32	11
⑤	33	21	46	54	18	19	3
⑥	52	29	34	50	9	19	5
⑦	45		42		8		5
⑧	58	56	31	40	9	2	2
⑨	49	53	40	43	10	4	0
⑩	51	24	41	60	6	16	2
⑪	48	32	36	57	13	11	0
⑫	38	89	38	10	17	1	8
⑬	40	18	41	64	14	16	5
⑭	40	29	53	65	5	5	2
⑮	52	20	42	50	5	29	1
⑯	60	33	31	64	6	4	0
⑰	41	48	42	51	12	1	5
⑱	48	38	36	50	10	9	6
⑲	46	45	37	52	13	1	5
⑳	44	30	38	56	12	9	5

学校運営協議会より

～よりよい愛を築くために～

- 「学校が楽しい」という項目が年々増加傾向にある
- 学校と児童館はより効果的な連携がとれるようになってきている
- 中学生（卒業生）の様子を見ると、集団としての高まりを感じる
- 高学年になるにつれて、あいさつをする子どもが減少してきている傾向にある
- 継続することが難しい地域行事も出てきている
- 声をあげにくい子どものSOSにも目を向けていかなければならない
- 目指す子ども像の具現化を図る
- 経験・体験活動の充実（目的やねらいを明確にする）
- 地域行事についても、学校が連携していけるようにする
- 地域の人との交流（生活科や総合的な学習の時間のゲストティーチャー・少年補導の行事）やゲストティーチャーとの交流、PTA行事を楽しみにしていますか。

確かな学力

～目指す子ども像に向けた授業改善～

【結果】

- ・「そう思う」について、子どもの意識は大人の意識の約2倍で、主体性の項目（②④⑤⑥）については、前期より上昇傾向にある
- ・以下の項目において、児童は肯定的な意見が前期より減少している
 - ①「学校の勉強はわかりますか。」
 - ②「自分の意見や考えを話すことができていますか。」
 - ⑦「授業や学校生活の中でがんばったことを、先生はほめてくれますか。（児童のみ）」

【考察】

- ・主体的・対話的な学びの充実
 - 学びに向かう姿勢が良好になってきている
 - 聞くことの徹底が図られている
 - 自分の思いは話せても、相手の思いを比較したり関係づけたりして話すことが難しい
 - ・評価の在り方
 - 子どものがんばりに応じた褒め方が難しい
 - 【改善】
 - ・子ども一人一人がねらいを達成することができる授業づくり
 - ・即時に「ほめる」だけでなく、授業中の子どもの言動や行動に対する価値づけ

豊かな心・健やかな体

～Family 担任制のよさを生かした児童理解～

【結果】

- ・全体を通して自己肯定感や自己存在感の低さが見られる
- ・前期に比べ、「そう思う」が増加した項目（⑨⑩⑫⑯）がある
- ・以下の項目において、肯定的な意見が前期より減少している
 - ⑪「早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか。」
 - ⑫「自分にはよいところがあると思いますか。」
 - ⑬「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか。」

【考察】

- ・個人格差の広がり
 - 自分を振り返り、改善する力がついてきた児童が見られる
 - 意欲が継続せず、取り組む前に諦めてしまうことがある
 - ・子どもにつけたい力の共有（学校と家庭）
- 子どものいいところをみつけることができる
 - 学校での子どもたちの様子を伝える機会は比較的多い
 - 心の見えないモヤモヤを見取ったアプローチが不十分である
 - 大人目線での指導や支援が多い傾向にある
- 【改善】
 - ・ねらいのある活動と活動の見通し・振り返り
 - ・子どもが主体的に学ぶことができる授業、経験や体験活動
 - ・多角的、多面的な児童理解

学校・家庭・地域の連携

～多様化する社会における学校コミュニティ～

【結果】

- ・地域の一員であることの自覚が芽生え、地域との関わりが増えている
- ・以下の項目において、児童は肯定的な意見が前期より減少している
 - ⑯「お家の人にや地域の人からほめられることがありますか。」
 - ⑰「地域の人との交流（おはなし会・少年補導の行事）やゲストティーチャーとの交流、PTA行事を楽しみにしていますか。」

【考察】

- ・安全・安心な風土の醸成
 - 学校と家庭の連携がとれ、多くの大人が見守っている
 - 子どもの悩みや困りを的確に捉えることが難しい
 - 子どもが安心して思いを話せる機会が少ない
 - ・地域や家庭と交流する楽しみ
 - 交流学習が復活し、学校外との連携が図ってきた
 - 生活科や総合的な学習の時間において地域の人々との交流をしている様子をHPやおたよりなどで地域・家庭に伝えきれていない
 - 地域の人々との交流の意義を伝えきれていない
- 【改善】
 - ・地域学習の充実による子どもたちからの発信
 - ・教職員の地域コミュニティへの参画